

市民意見公募手続の実施結果

事案番号 12403

所管課名 人権・共生社会推進課

実施事案名 松山市ファミリーシップ制度(案)

意見提出期間 R6.9.2 ~ R6.10.1 30 日間

●意見の提出の有無 ☒ 有 ☐ 無

●意見の提出件数 個人: 34 件 (24) 人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 15 Fax: 0 電子メール: 19 その他: 0
 団体: 3 件 (2) 人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 0 Fax: 0 電子メール: 3 その他: 0
 合計: 37 件 (26) 人 【件数内訳】 持参: 0 郵送: 15 Fax: 0 電子メール: 22 その他: 0

●意見の反映件数 2 件 / 37 件

★提出のあった意見の概要及びそれに対する市の考え方等

意見の概要	意見に対する市の考え方	政策等の案の修正内容
◆類似意見の集約 ☒ 有 ☐ 無 ※ 集約意見数 (5) 件 ・パートナーシップ制度導入によってマイノリティ当事者への影響は物理的な満足度だけでなく、啓発精神面への影響も大いにあると思う。「パートナーシップ制度」も別に記載して欲しい。 ・全国的にはパートナーシップ制度のほうが認知されており、制度名を「ファミリーシップ・パートナーシップ制度」としたほうがわかりやすい。 ・みんなと同じ制度、同じ生活が出来るよう願っている。制度が啓発にも繋がるよう「ファミリーシップとパートナーシップ制度」と別の名称を希望する。 ・「松山市ファミリーシップ・パートナーシップ制度」と松山市の同制度にはパートナーシップ制度も含まれていることをわかりやすく表現したほうが良いと思う。 ・制度名に、他自治体(例:世田谷区)のように「パートナー」「ファミリー」といった言葉は必要だと思う。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし これまでに当事者の方から、「同性間はもちろん、異性間でも利用できるようにして欲しい」といった意見や、性的少数者だけが利用する印象を与えるような名称にして欲しくない」といった意見をいただき、性的マイノリティを含む誰もが利用しやすい制度にしたいと考えました。 これらの経緯をふまえ、本制度の名称は「松山市ファミリーシップ制度」として、運用していきたいと考えています。	
◆類似意見の集約 ☒ 有 ☐ 無 ※ 集約意見数 (2) 件 ・お互いの個性や多様性を認め合い・などと表現されている部分について、「性別・性的指向を含めた多様性」などと、LGBTQ当事者も自身のことだと分かるように表現していただきたい。 ・制度名や趣旨に同性パートナーも対象であると感じ触れられていないのが不親切だと思った。しっかり読み込んで、自分たちが本当に対象なのかかわりにくい表現だと思う。他の自治体のように「パートナー」「ファミリー」といった言葉は必要だと思う。	◆政策等の案への反映結果 ☒ 反映 ☐ 反映なし ご意見を踏まえ、「届出することのできる方」の部分に同性パートナーも対象となることと分かるような表現に修正します。	「届出することのできる方」の説明文の、「届出する二人が」を、「同性間、異性間を問わず届出する二人が」に修正する。
◆類似意見の集約 ☒ 有 ☐ 無 ※ 集約意見数 (2) 件 ・届出方法に電子申請や郵送での方法があり、便利だと感じる。証明書及び届出受理カードは届出から受取りまで一貫して電子申請や郵送できると、マイノリティの方々も利用しやすく、より普及すると思う。 ・手続きを全てネットで行えたら、手間が省けてありがたい。	◆政策等の案への反映結果 ☒ 反映 ☐ 反映なし ご意見を踏まえ、受理証明書及び受理カードの交付は、窓口での手渡しだけでなく、郵送での交付も可能とします。 インターネットでの交付(電子証等の交付)を、導入する予定はありません。	

◆類似意見の集約 ☒有 ☐無 ※ 集約意見数 (15) 件 ・松山市ファミリーシップ制度に賛成。多くの人にとって安心して住める土地になるのではと考える。 ・同性パートナーと一緒に暮らしており、松山市にファミリーシップ制度ができると、とても嬉しい。 ・グローバルな流れとして、SDGsにジェンダー平等、多様性への取組、多くの自治体でも制度の導入が進んでいます。種々の課題等はあるかと存じますが、制度は前向きにご検討いただけますと幸い。 ・素晴らしい制度だと思う。実現することで今回の制度に該当される方は、より社会貢献に努めやすい環境下になると思う。 ・賛成です。導入することのメリットが多いと思う。 ・ファミリーシップ制度が認められた場合、誰も損しないし、傷つかない。ただただ、喜ぶ人が多いと考える。 ・多様性がうたわれる時勢において、様々な家族のありかたがあつていいと思う。ぜひともファミリーシップ制度を進めていただきたい。 ・人生のパートナーとして、安心して生活ができるような制度とすることに、大きな意義があると思う。早く導入されることを支持する。 ・この制度ができることで助かる人が増えると思うので賛成です。将来的にはその制度でできることを増やしてほしい。 ・賛成です。このご時世で制度として認められていないのを知らなかった。 ・賛成です。新しい家族の形もあればいいと思う。 ・賛成します。多様な家族の形がある現在、制度にもいろいろな形が認められるといいと思う。 ・全ての人が将来への不安や差別をうけることがない世の中にするために制度は必要だと思う。 ・基本的にファミリーシップ制度に賛成。多様性が叫ばれる中、このような制度を導入する一歩は大事だと思う。 ・ファミリーシップ制度(案)には賛成。その理由は人権が尊重され、一人ひとりの個性、多様性、価値観を認め合うことがこれからの社会で大切であると思う。	◆政策等の案への反映結果 ☐反映 ☒反映なし いただいたご意見を参考に取組を進め、性の多様性について市民の理解が深まるよう、周知啓発に努めます。	
◆類似意見の集約 ☒有 ☐無 ※ 集約意見数 (2) 件 ・制度の趣旨や手続きに関しては理解できたが、証明書があればどのようなことが可能になるのか具体的な内容が、制度の中に記載されると良いと感じた。同性パートナーと暮らしていて困ることのひとつに、病院受診に関することがある。手術や入院に関する病状説明や同意などが、自分やパートナーに可能なかどうか、不安を感じている。今回の制度に関する活用例に「医療機関でも家族として扱う」「賃貸物件への入居がしやすくなる」「職場でもパートナーを家族として扱ってもらえるようになる」など、具体的な例の記載があると、周りも動きやすいのではないかな。 ・まだ検討の段階だと思うが、証明書を交付されたことによって、実際どのようなことができるようになるのか、具体的に教えて欲しい。	◆政策等の案への反映結果 ☐反映 ☒反映なし 利用できる行政サービスや民間サービスについては、今後作成する手引き等で公表していきます。 あわせて、本制度で受けられるサービスを増やすため、制度の周知や理解促進に努めます。	
◆類似意見の集約 ☐有 ☒無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・この制度を利用していることや2人の関係、性的指向等を他人に知られたくない人たちもいるので、(LGBTQ当事者、男女のカップル問わず)、医療現場や企業、職場でアウティング(本人の了承を得ずに他人に伝えること)が起こらないよう、配慮する文面や注意事項の記載も必要だと思う。	◆政策等の案への反映結果 ☐反映 ☒反映なし ご意見を踏まえ、受理証明書や受理カードの提示を受けたことを口外しないよう、受理証明書及び受理カードに記載し注意を促すことで、アウティングの防止に努めます。	
◆類似意見の集約 ☒有 ☐無 ※ 集約意見数 (2) 件 ・パートナーシップ制度やファミリーシップ制度が「自治体が独自に家族と認めてくれる制度(婚姻相当という表現をしている例も)」という伝わり方から、その内容をよく理解できない方や誤解してしまう方がいるようだ。過大な期待・希望といったものを持たせてしまうことが無いよう、この制度でできることの限界について、十分に分かりやすく伝えていくべきと考える。 ・この制度を申請する時、結婚ではないこと、また、事実婚と法律婚の違いを案内してから、申請書を受け付けてほしい。	◆政策等の案への反映結果 ☐反映 ☒反映なし ご意見を踏まえ、本制度の手引き等に、「この制度は法律上の婚姻制度や養子縁組制度ではありませんので、法的な効力は生じません。」といった文言を記載するとともに、届出者にも説明を行います。	

◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・本案では二人を基準としているが、二人以上の複数人で法的な関係でない人々が支え合って生活している例がある。本制度は婚姻や養子縁組ではないのだから、二人という枠組みにこだわらず、共同生活者のすべてが包含されるものになっていけば柔軟になるのではないかと考える。そのことによって、恋愛関係であるとかといった、共同生活者の関係を邪推されることもなく、また取りこぼすことが無いのではないかと考える。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 本制度は、婚姻に準じるような法的な効力を有するものではありませんが、様々な事情で婚姻できないお二人が家族として届出たことを証明する制度ですので、二人を基本として運用していきたいと考えています。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・相手以外の方とパートナーシップ又はファミリーシップを形成していないこと(事実上の婚姻関係を含みます。)とあるが、どのように確認するのか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 届出書に、相手以外の方とパートナーシップ又はファミリーシップを形成していないことを確認する欄を設け、本人に確認します。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・この制度を利用している人が、関係を解消する場合、どちらか一方の申し出で出来るのか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし ファミリーシップを解消する時の受理証明書及び受理カードの返還手続きは、どちらか一方による届出も可能です。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・生活保護のAさんとその子供であるBが、自分たちで生活しているCさんとその子供であるDさんが、ファミリーシップ制度をとった場合、生活保護の適用は、どうなるのか。また、逆に離婚によって片方が生活保護でなくなる場合に、離婚して、このファミリーシップ制度を利用した場合でも、離婚しているから生活保護でなくなるということになるのか。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 他制度の要件については、状況に応じて所管部署で判断します。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・続柄の欄が妻(夫)となるとよい	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 参考意見とさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・平成後半から令和に入り多様性の時代、個性を尊重する時代に入ったと感じています。『踏み込んでいけない領域』は必ず一人一人あるのが個人的に「多様性」「個性」と言われているものだと思う。人は一人一人違うから、「人は違って当たり前」「人は違って当たり前、それが多様性、個性ってこと」をシンプルに理解できるのかなと、自分なりに思う。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 参考意見とさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・恋愛に関しては、本人たちの自由で良いと思う。もし、子どもが欲しい場合は人工授精や里親制度などがないのではないかと。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 参考意見とさせていただきます。	
◆類似意見の集約 ☐ 有 ☒ 無 ※ 集約意見数 (0) 件 ・国が法的効力のある法律を実施するまで、松山市は何もしなくて良い。時間経過とともに解決するため。理由としては、1. 国がやるべきこと。2. 松山市ファミリーシップ制度の展望が不明。3. 民間事業者に負担が大きくなる可能性がある。4. 松山市は愛媛県内において優位であるため不要と考える。	◆政策等の案への反映結果 ☐ 反映 ☒ 反映なし 本制度は、LGBTQの方を含め、生きづらさを感じている方に寄り添い、日常生活で抱える様々な困難を軽減・解消することを目的として実施するものであり、全ての市民が個人として尊重される社会の実現につながると考えています。 また、この制度をきっかけに、性の多様性について市民の理解が深まるよう、周知啓発に努めていきます。	

★政策等の案の公表後、実施機関が自らの判断で修正した内容

修正内容			修正理由
修正前		修正後	
該当なし	⇒		
	⇒		